

やさしい手話教室

朝晩が徐々に涼しくなり始め、手話教室の季節がやってきました。今年度のやさしい手話教室も、《手話サークル 内の子》の方々に講師をお願いしています。

十月一日には午後七時半から金曜日コースが、十月四日には午前十時から月曜日コースが開講しました。コロナ対策をしながら、それぞれ全十回の教室を行っています。途中からでも参加できますので、興味のある方は福祉館までお問い合わせください。



月曜日コース

うちこ福祉館だより

令和3年
11月発行
電話・FAX
44-3410

手話ってなんだろう

月曜日コースで使用しているテキストの最初のページには、

「はじめて手話を学ぶあなたへ 手話は手や身体・表情で表し、目で見て理解することばです。」

と書かれています。

手話は「見ることば」。そう思ったなら、手話は特別なものではなく身近なものと思えてきませんか。

また、「聞こえる人も聞こえない人も同じように分かるために、互いに伝え合おう」という気持ちを大切にしているのが手話（見ることば）とも考えられるのではないのでしょうか。手話って、人への思いと優しさに溢れた素敵なコミュニケーションですね。

各教室も続々再開

九月十三日（月）より施設利用が再開されたことにあわせ、健康体操・フィットネス・押花教室・小学生習字教室・生花教室・茶道教室・わいわい喫茶（十一月より）・機能回復訓練室の利用、更に貸館事業も順次再開しています。また十月からは、館内での飲食についても可能となりました。ただし、飲酒は不可、オードブル形式は不可などの制限もありますので、事前に福祉館へご相談ください。

●ご協力のお願い

うちこ福祉館では、利用者の皆さんが使用されたスリッパは、その都度、消毒を行っております。また、できるだけ屋内用の履物（上履き・スリッパ等）を持参していただくことをお願いしております。

今後は、大人数での会合や使用頻度も徐々に増えていくことが予想されます。改めて、履物の持参について皆様のご協力をお願いいたします。利用の際には、参加者の方への事前周知もよろしくお願い致します。

健康講座のお知らせ

日時：十二月二十一日（火）
午前9時半～

場所：うちこ福祉館
会議室・調理室

講話：元氣菌つらつ
は 愛顔のうちこ

講師：在宅歯科衛生士
井伊由佳さん

調理実習：おもてなし料理
講師：内子町管理栄養士
酒井涼香さん

定員：十五名

参加費：三百円（当日集金）
その他：マスク・エプロン・
頭巾を持ってくる
ださい。

申込：十二月十四日（火）

調理実習後は食事を予定
しています。コロナの状況次第では、弁当箱に詰めて持ち帰っていただく、また、急な内容変更や中止の可能性が
あります。

あらかじめご了承ください
いたうえで、申し込んでくだ
さいますようお願いいたします。

第13回福祉館まつり～今こそ人権、見つめ直そう！～

★作品展示（2階集会室） 11月13日（土）午前9時～午後4時 11月14日（日）午前9時～正午

人権標語・ポスター等 … 内子小学校、内子中学校、内子高等学校、五城保育園
子育て支援センター

福祉館事業作品 … 小学生習字教室、押花教室、事業紹介

福祉館利用団体 … サークル活動紹介・作品展示

人権啓発パネル展示・人権啓発に関する資料（書籍等）の展示

人権標語・ポスター表彰式（会議室）※13日のみ

バザー・イベント・
小物やクッキーなどの
販売はありません

★人権講演会（2階集会室）

11月25日（木）午後7時～午後8時30分

講師：内子町立大瀬小学校長 ^{さ さ き} 佐々木 ^{ただし} 直 さん

演題：「水平社に学ぶ」事前申込制（定員 50 名）

来館される皆様へ：上履き持参、マスク着用、検温、体調チェック表への
記入をお願いします。



主催：福祉館まつり実行委員会 共催：内子町人権教育協議会、県人権対策協議会内子支部
後援：内子町、内子町教育委員会 協力：内子小学校、内子中学校、内子高等学校（人権委員）、子育て支援センター、各福祉館事業・貸館等の受講者・利用者・協力者のみなさん

～コロナの正しい理解を 愛媛県～

コロナ禍というかつてない困難に直面した私たちは、
互いをいたわり支え合うことで、
今まで乗り越えることができました。

状況が目まぐるしく変化している今、
私たちはあらためて思いやりをもって、
支え合うための行動を続けていくことが大切です。

ひとりひとりが、今できることを。
そのひとつひとつが、明日の愛顔につながる。

えひめは愛顔がトレードマークの、
ひとつの大きな「チーム」です。

マスクの下の晴れやかな表情を
見せ合える日常を取り戻し、
より強い絆で結ばれた愛媛を、
私たちの手でつくっていきましょう。

うちこ福祉館も、地域の皆さんとともに、
「思いやりの心」「支え合いの輪」
を広げていきます。

（ロゴマークについて）
コロナに立ち向かうために
「一体となること」、「人を思うこと」を
わかりやすく表現。その想いこそが、
**愛媛の明るい未来＝笑顔へつながることを
笑顔であふれる愛媛県のカタチでと、
“愛”と“愛”顔の漢字の一部が繋がっ
ています。**



#ひとりの愛、
みんなの愛顔。

～コロナの正しい理解を 愛媛県～